

取扱説明書

家庭用 BL認定品
(131-R500・R510型のみ)

ガスふろ給湯器

全自動タイプ 131-R500型

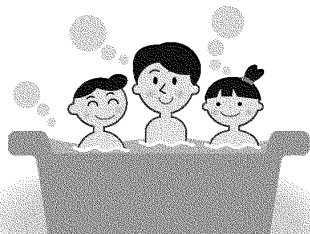
自動タイプ 131-R510型

自動タイプ 131-R440型
131-R442型

ECOジョーズ

大阪ガス

型名 RUF-K1611AW (屋外壁掛)
RUF-K1611SAW (屋外壁掛)
RUF-VK1610SAW (屋外壁掛・PS標準)
RUF-VK1610SAT-80 (PS (扉内) 前方排気)



ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスふろ給湯器をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

- ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- この取扱説明書には保証書が付いています。大切に保管してください。
- 浴室単体リモコン138-R009などをお使いの場合は、リモコンに付属の取扱説明書も合わせてご覧ください。
- この製品は国内専用です。

もくじ

	ページ
●安全上のご注意	1
●機能と特長	8
●初めてお使いのときは、まず	8
●各部のなまえとはたらき	9
●使用方法	
①時計の合わせかた	13
②表示の節電設定(セーブモード)の変更方法	14
③自動運転のしかた	15
④ふろ温度の調節方法	17
⑤ふろ保温時間の変更方法	18
⑥ふろ湯量(水位)の調節方法	19
⑦おいだきたいときは	21
⑧おふろをぬるくするには	22
⑨お湯をふやしたいときは	23
⑩セルフクリーン機能の使いかた	24
⑪好きな時間に湯はりする「予約運転」のしかた	25
⑫シャワー・台所・洗面所などの給湯温度の調節	27
⑬ゆらぎのシャワーの使いかた	29
⑭音声やメロディーの大きさ(音量)を変えるには	31
●冬期の凍結による破損防止について	33
●点検・お手入れのしかた	36
●長期間使用しない場合は	37
●故障かな?と思ったら	38
●機器移設の再設定	43
●主な仕様・能力表	44
●アフターサービスについて	45
●保証書	46・裏表紙

安全上のご注意

この機器を安全に使用していただくために、下記のことを必ずお守りください。これらの注意事項は安全に関する重要な内容です。表示と意味は下記の通りです。

内容の区分

表示	危険	警告	注意
意味	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

上記に述べる傷害、物的損害とはそれぞれ次のようなものをいいます。

傷害： 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などをさします。
物的損害： 家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

絵表示の意味

一般的な危険 警告 注意	一般的な禁止	触れないこと
めれ手禁止	分解禁止	必ず行うこと
必ずアース線を 接続する		

危険

ガス漏れに気付いたときの処置

- ①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。 → ②窓や戸を開けガスを外へ出す。 → ③もよりの大阪ガスに連絡する。



危険

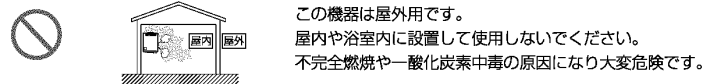
ガス漏れに気付いたら下記行為は厳禁

火を使ったり電源プラグの抜き差し禁止 電気器具(換気扇など)のスイッチの「入・切」禁止 ガスのにおいをする場所での電話の使用禁止



ガス漏れに気付いたときは、大阪ガスの係員による処置が終わるまで上記のことを行わないこと。炎や火花で引火して爆発事故を起こすことがあります。

屋内設置禁止



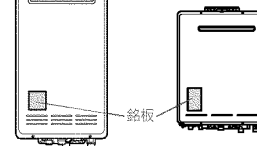
警告

機器の銘板を確認

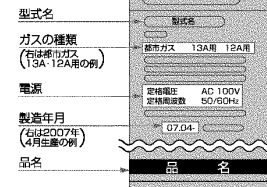
使用する機器が使用するガスの種類(ガスグループ)および使用する電源(AC100V・50-60Hz共用)に適合していることを機器の銘板で確認してください。表示以外のガス種および電源を使用すると不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。

131-R440型の場合

131-R500・R510型



※下図は銘板の一例です。



この機器はAC100V(50-60Hz)用です。AC100V以外の電源電圧では使用できません。

工事は資格必要

この機器の設置・移動・取りはずしおよび付帯工事には専門の資格・技術が必要です。工事は必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼してください。

機器やリモコンの分解は禁止

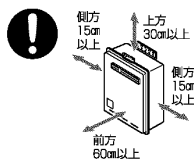
サービスマン以外の方は機器のフロントカバーをはずしたり、分解しないでください。また、リモコンも分解しないでください。事故や故障の原因になります。

安全上のご注意

警告

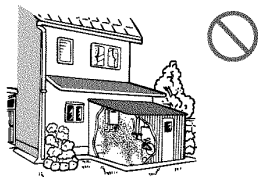
火災予防のために必ず守ること

- 機器周辺の物とは常に右図の離隔距離を確保してください。
- 機器や排気口・排気筒トップが洗たく物などでおおわれないようにしてください。
- 機器および排気口・排気筒トップの周囲には、紙や木材などの燃えやすい物を置かないでください。
- 機器や排気口・排気筒トップの周囲では、スプレー・ガソリン・ベンジンなどの引火性危険物を置いたり、使用したりしないでください。引火して火災の恐れがあります。
- 機器や排気口・排気筒トップの周囲にスプレー缶・カセットこんろ用ボンベなどを置いたり、使用したりしないでください。熱でスプレー缶内の圧力が上がりスプレー缶が爆発する恐れがあります。



囲い設置禁止

この機器は屋外用ですので、増改築などによって屋内状態にしないでください。機器や排気口を波板やビニール・塗装時に使用した養生シートなどで囲わないでください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災の恐れがあります。



機器本体に無理な力を加えない

機器本体やガスの接続口・排気口などに乗らないでください。けがや機器の変形によるガス漏れ・不完全燃焼の恐れがあります。



ソーラー接続禁止

この機器は、太陽熱温水器（ソーラーシステム）とは直接接続しないでください。ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどをする恐れがあります。



お子様に対する注意

お風呂を沸かしているとき（浴槽に湯はりしているとき）にお子様を浴室で遊ばせないようにしてください。浴槽に落ちますと思わぬ事故につながる可能性があります。入浴中にお子様を浴槽に潜ったりしないようにしてください。特に小さなお子様のいるご家庭では注意が必要です。



ガス事故防止のために

この機器はねじ接続です。ガス接続工事はお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼してください。

ゆらぎのシャワー使用上の注意

- 次の方はゆらぎのシャワーを使用しないでください。体調をくずすことがあります。

- | | |
|-------------------|------------|
| ①妊娠中の方 | ④高血圧の方 |
| ②医者から入浴を禁じられている方 | ⑤体力の弱っている方 |
| ③お酒を飲んだあとや深酒をされた方 | ⑥体調の悪い方 |



やけど防止のために必ず守ること

- お湯を止めた後に再使用するときや、お湯の量を急に少なくしたとき、トイレの水を流すなど大量の水を使用して給水圧が下がったとき、あるいは万一機器の故障の際には、一瞬熱いお湯が出る場合があります。やけどの予防のために出始めのお湯は手や体にかけないでください。また、給湯使用時は給湯栓が熱くなりますのでやけどに注意してください。



- シャワーなどお湯を使う場合、最初に熱いお湯が出る場合があります。やけど防止のため、シャワーはいきなり頭や体にかけず、手のひらで湯温を十分に確認してから使用してください。



- シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しないでください。突然、熱湯が出てやけどをしたり、冷水が出て思わぬ事故につながる場合があります。



- 入浴時には浴槽のお湯を十分にかきまぜてから、必ず手で湯温を確認してから入浴してください。

- お風呂沸かし（沸かし直し）時やおいだし運転中は、循環アダプター付近が熱くなっていますので注意してください。また、保温機能を設定している場合も定期的においだししますので注意してください。

機器の異常に気付いたら

- 使用中に異常な臭気・異常音・異常な温度を感じた場合、機器が使用中で消火してしまった場合はただちに使用を中止してガス栓を閉めてください。
- 異常を感じたときは、「故障かな?と思ったら」(38~42ページ)に従ってください。上記の処置をしても直らない場合は使用を中止して、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへ連絡ください。
- 地震・火災などの緊急の場合は、ただちに使用を中止してガス栓・給水元栓を閉めてください。



- ①給湯栓をすべて閉める。 ②運転スイッチを「切」にする。 ③ガス栓を閉める。

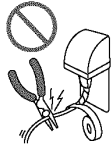


安全上のご注意

⚠ 警告

電気事故防止

●電源コードを切断して延長はしないでください。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災などの原因となります。



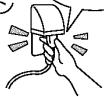
●電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



●電源プラグは根元まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因となります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使わないでください。



物ッ物ッ!



●ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。また、雨が降り出している場合は電源プラグを抜かないでください。感電の恐れがあります。



⚠ 注意

ご使用上の注意

●給湯・シャワー以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故や故障の原因となります。



●使用中や使用直後は排気口・排気筒トップやその周辺は高温になっています。やけど防止のため、絶対に手を触れないでください。



●排気口や排気筒トップに指や棒を入れないでください。故障やけがの原因となります。



●この機器はアースが必要ですのでアースされていることを確認してください。



●電源コードを引っばって電源プラグを抜かないでください。電源コードを引っばると破損して感電や火災の原因となります。



⚠ お願い

機器の設置状態の確認

●機器の設置にあたって次の項目をチェックしてください。

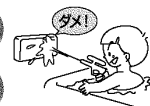
- ①機器は傾いて設置されていませんか？
- ②冷・暖房機や換気扇の吹き出し口や吸い込み口付近は避けてありますか？ 正常な燃焼の妨げになります。
- ③棚の下など落下物の危険はありませんか？
- ④メンテナンスができない場所に設置されていませんか？ メンテナンスをお断りすることがあります。
- ⑤近隣の家が騒音（燃焼音・燃焼用送風機・ポンプ回転音など）で迷惑にならない場所に設置してありますか？
- ⑥排気口への積雪や、屋根から落ちた雪で給・排気口が閉塞されることはありませんか？ 不完全燃焼の原因となります。

以上の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店または施工店に連絡し、設置場所を変更してください。

- 増改築によって、燃焼排ガスが直接建物の外壁・窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。
- 植物やペットなど、燃焼排ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものは排気口・排気筒トップの周囲に置かないでください。
- 温泉水や地下水や井戸水は、水質によっては機器の配管内部に異物が付着するなど、耐久性を損なう場合や、機器を腐食させる恐れがありますので接続しないでください。
- この機器は一般家庭用です。業務用として多頻度・長時間のご使用は、機器の寿命を著しく縮めることとなりますのでご承知おきください。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。
- 事故防止のため、この機器専用の付属品・別売品以外は使用しないでください。

リモコンの取り扱いについて

- リモコンはお子様がいたらしないように注意してください。思わぬ事故や故障の原因となります。
- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。また、台所・増設リモコンは防水タイプではありませんので水をかけないようにしてください。故障の原因となります。
- リモコンのお手入れの際には、台所用中性洗剤（食器・野菜洗い用）以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないでください。表面の光沢や印刷・文字などが消えたりキズがつきます。
- リモコンは分解したり乱暴に扱わないでください。故障の原因となります。



一般的な禁止



ぬれ手禁止



触れないこと



分解禁止



必ずアース線を接続する



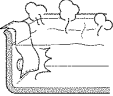
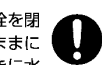
必ず行うこと

安全上のご注意

⚠️ お願い

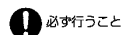
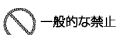
ご使用上の注意

- お手入れの際、長期間使用しない場合、および凍結防止のため水抜きを行うとき以外は電源プラグを抜かないでください。
- 運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命が短くなります。
- 断水時には運転を停止して給湯栓を閉めてください。給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。また断水が復帰した後、使い始めのお湯は飲用や調理用などには用いないでください。飲用や調理用に適さない水が給水配管内にとどまることがあります。給湯栓から十分水を流してから使用してください。
- 機器や配管内に長時間たまっていた水は、飲用や調理には用いないでください。朝一番などのように長時間使わなかった後、お使い始めのまだぬるいお湯（洗面器一杯程度）は念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用水・調理用水としてお使いください。
- 硫黄・酸・アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、熱交換器などが腐食する原因となるものがありますので入浴剤などのご注意文を十分ご参照ください。
- 泡の出る入浴剤は使用しないでください。使用した場合、循環不良となりおふろ沸かしができません。
- 塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤・消臭剤または塩などが、機器やガス管などにかかった場合は十分に十分な水洗いをしてください。思わぬ事故や故障の原因となります。
- 給水配管が新しい場合や水質によっては、銅イオンがわずかにお湯の中に溶出し、青色の化合物が生成され、浴槽やタオルなどが青くみえることがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤で洗い・すすぎをよくすることにより、発色しにくくなります。
- 浴槽の循環アダプターをタオルなどでふさがないでください。ふさぐと循環不良となり、おふろ沸かしができません。



乾電池に関するご注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。その際、乾電池を使用している機器は、乾電池を取りはずしてから正規の処置をしてください。そのままにしておきますと、思わぬ事故になることがあります。



機能と特長

<p>給湯もおふろ沸かしもこれ一台でOKです。</p> <p>同時使用もOK!!</p>	<p>スイッチ、ポンで湯はりができ、湯はりが終わると音楽と音声でお知らせします。(15ページ参照)</p> <p>スイッチ ポン!</p>	<p>お好きな時刻におふろに湯はりする予約運転ができます。(25ページ参照) ※台所リモコン設置時のみ</p> <p>OK!</p> <p>ふろ予約</p>
<p>リモコンにはスピーカーを内蔵しており、各スイッチ操作時には音声でお知らせします。</p> <p>お風呂が沸いたら</p> <p>(音声については32ページをご覧ください)</p>	<p>湯量と湯温の見りは機器におまかせ。(自動運転時) ※湯量については全自動タイプのみ</p> <p>自動</p> <p>湯量</p> <p>湯温</p>	<p>「ゆらぎのシャワー」で心と体のリフレッシュ!! (29ページ参照)</p> <p>設定温度</p> <p>ゆらぎの温度</p> <p>※ゆらぎのシャワーはお湯の温度が1/4のゆらぎで変化し、自然のリズムで体をリフレッシュさせるシャワーです。</p>

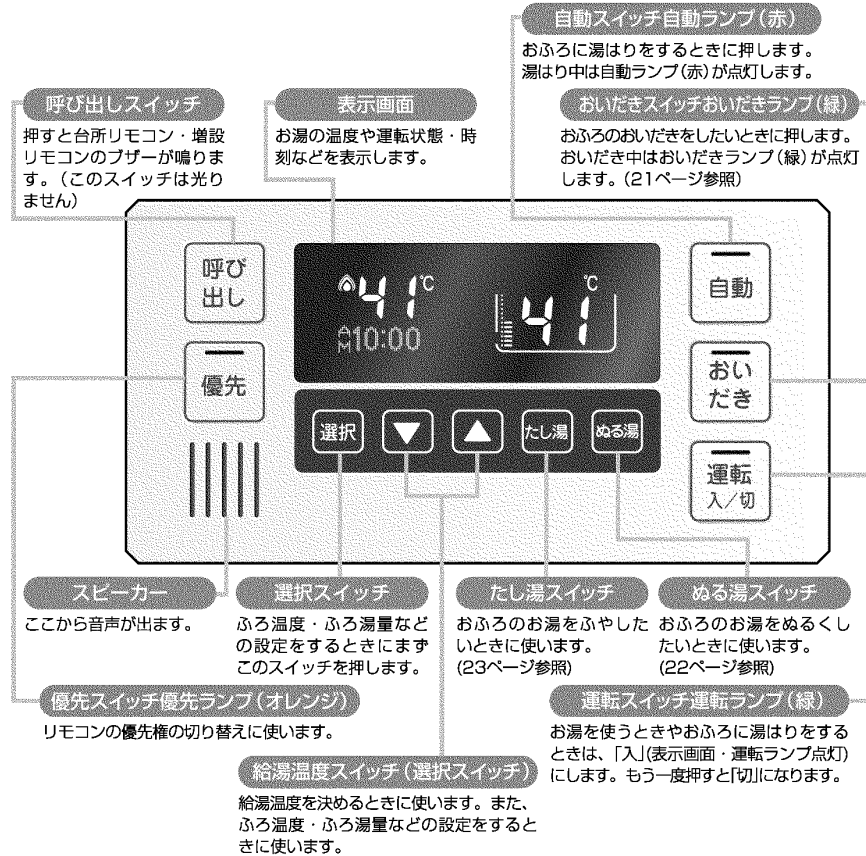
初めてお使いのときは、まず...

<p>1 給水元栓を全開にします。</p> <p>全開にする</p> <p>機器の下部</p>	<p>2 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから開めます。(すべての給湯栓について)</p> <p>開ける</p> <p>お湯の使用場所</p>	<p>3 電源プラグをコンセントに差し込みます。(分電盤の専用スイッチを「入」にしてください)</p> <p>機器付近の壁・分電盤</p> <p>ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の恐れがあります。</p> <p>注意</p>	<p>4 ガス栓を全開にします。</p> <p>全開にする</p> <p>機器の下部</p>
---	---	--	--

各部のなまえとはたらき (浴室リモコン)

浴室リモコン (別売品 138-R310型)

- 浴室に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。また、呼び出しスイッチを押すと台所リモコン・増設リモコンのブザーが鳴り、台所などにいる人を呼び出すこともできます。

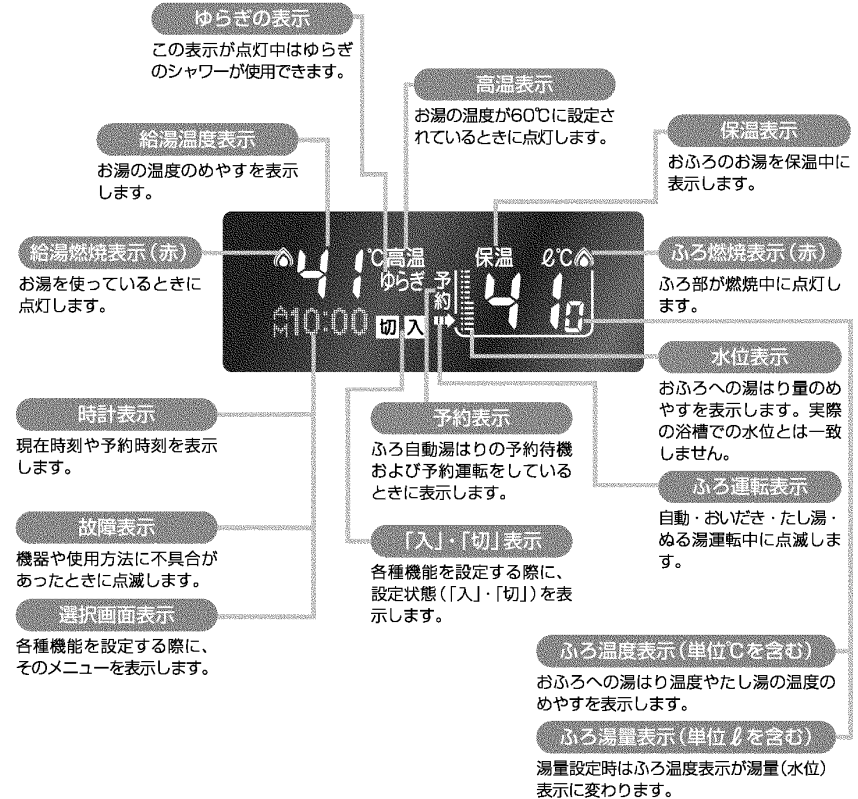


スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聴こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようにご注意ください。

お願い

浴室リモコン表示画面のみかた

- スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示を確認してください。表示しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。

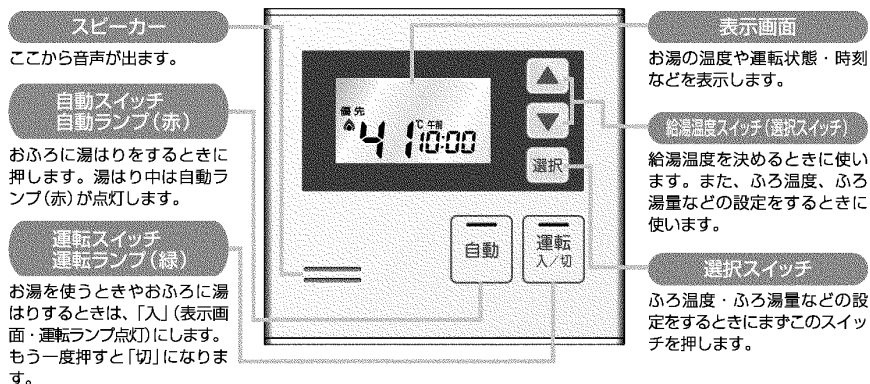


- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音や音声を確認してください。

各部のなまえとはたらき (台所リモコン・増設)

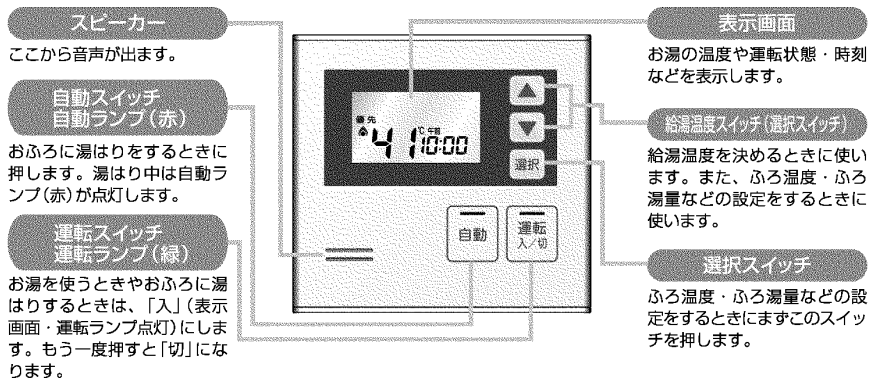
台所リモコン (別売品 138-R310型)

- 台所に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ビッ」という操作確認音や音声でお知らせします。



増設リモコン (別売品 138-R311型)

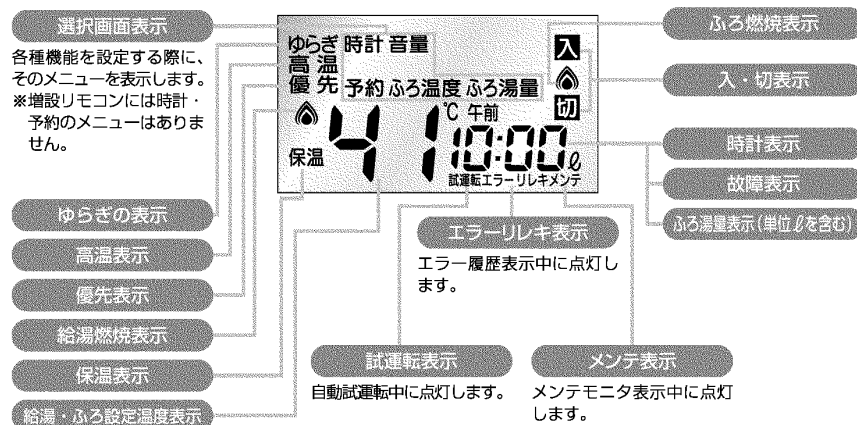
- 洗面所などにこのリモコンを取り付ければ、手もたで給湯温度を変えることができます。
- スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



リモコン・機器本体

台所リモコン・増設リモコン表示画面のみかた

- スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示を確認してください。表示しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。
- スイッチ操作後、スイッチ操作のない状態が1分経過すると、液晶表示部が暗くなります。(省エネのため、バックライトを少し暗くします)



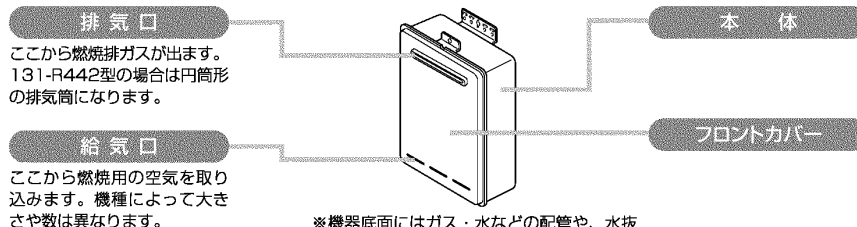
※表示の内容については、10ページの「浴室リモコン表示画面のみかた」をご覧ください。



スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聞こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようご注意ください。

・スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ビッ」という操作確認音や音声を確かめてください。

機器本体 (下のイラストは131-R500・R510型の例です。)



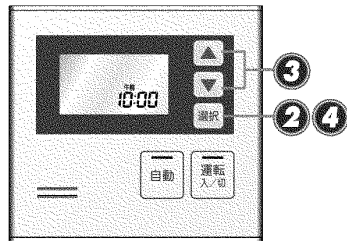
※機器底面にはガス・水などの配管や、水抜きを行うための水抜き栓などがあります。詳しくは34ページの図をご覧ください。

使用方法 ①

時計の合わせかた

- 台所リモコンで設定します。
(浴室・増設リモコンにはこの機能がありません)

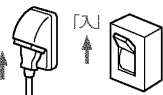
- ・浴室リモコンのみ設置の場合は時刻は表示されません。(予約運転もできません)
- ・現在時刻を合わせないと予約運転ができません。



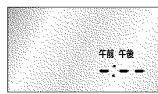
1 電源プラグをコンセントに差しします。

(運転スイッチは「入」にしないでください)

- 電源プラグを差し込む(または分電盤の専用スイッチを「入」にする)と、右図の表示が点灯します。
- ※運転「切」の状態でのみ設定できます。



台所リモコン



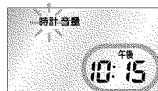
2 選択スイッチを押して、選択画面を表示させます。続けて選択スイッチを押して「時計」を選択します。

- 選択されているメニューは点滅します。



3 ▼ または ▲ スイッチを押して、現在の時刻に合わせます。

- ※ ▼ ▲ スイッチを押し続けると、10分刻みで時刻が変わります。表示したい時刻の数字に近づいたら1回ずつ押すようにします。



4 選択スイッチを押します。

- 「設定しました」とお知らせして、操作が完了します。
- 選択スイッチを押した瞬間に秒は0秒になりますので、時報などに合わせて押せばより正確な時刻になります。
- ※ 選択スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると、自動的に設定が完了します。
- 運転スイッチを「入」にすると、すべてのリモコンに現在時刻が表示されます。
- ※ 運転スイッチを「切」にすると、台所リモコンでは時刻表示だけが点灯した状態となり、他のリモコンではすべての表示が消灯します。



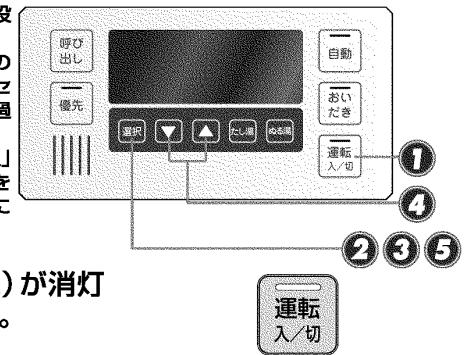
お願い

- ・午前と午後を間違えないようにご注意ください。
- ・電源プラグが抜けた場合や停電後の再通電時には、---の表示に戻ります。再度時刻を合わせてください。

使用方法 ②

表示の節電設定(セーブモード)の変更方法

- 浴室リモコンで設定します。(台所・増設リモコンにはこの機能がありません)
- セーブモードとは、リモコンの待機電力の低減(省電力)を目的とした機能です。セーブモードが「入」のときは、時間が経過すると自動的に表示画面が消えます。
- お買い上げの際には、セーブモードは「入」に設定されています。セーブモード機能を使用しない場合は、下記の手順で「切」にすることもできます。



1 運転スイッチのランプ(緑)が消灯していることを確認します。

- 点灯している場合は 優先 スイッチを押します。
- ※運転「切」の状態でのみ設定できます。

2 選択スイッチを押します。

- 選択画面が表示されます。

3 選択スイッチを押して、「セーブ」を表示させます。

4 ▼ または ▲ スイッチを押して、「入」を表示させます。

5 選択スイッチを押します。

- 「設定しました」とお知らせして設定が完了します。
- ※ 選択スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると、自動的に設定が完了します。
- 設定を解除するときは 1~3 の操作を行った後で ▼ または ▲ スイッチを押して「切」にしてから 選択 スイッチを押します。

浴室リモコン



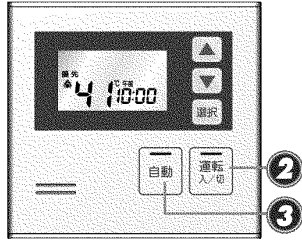
リモコンの節電機能について <表示の節電>

- ・リモコンの消費電力を極力節電するため、給湯を使用してから約25分たつと表示画面が消えて、運転スイッチのランプ(緑)のみ点灯します。浴室リモコンに優先権がある場合は、優先スイッチのランプ(オレンジ)も点灯します。ただし、給湯栓を1度も開けていない状態では、表示画面は消えません。1度給湯を使用してください。機器を再使用したり、いずれかのスイッチを押すと、表示画面が再び点灯します。
- ※ ▼ ▲ 選択 スイッチ以外のスイッチを押すと、表示画面が再び点灯するとともに、押したスイッチの動作が開始されます。
- ・湯はり運転中および給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため表示の節電(セーブモード)機能は働きません。
- ・台所・増設リモコンには標準仕様として、スイッチ無操作状態1分経過後に、バックアップライトを暗くする機能があります。再度スイッチ操作をすると、バックアップライトの明るさを設定の明るさに戻します。

自動運転のしかた

●どのリモコンでも操作できます。

(台所リモコン・増設リモコン)

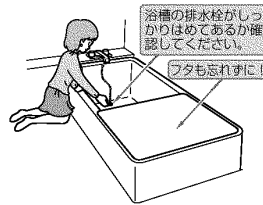


(浴室リモコン)



1 浴槽に排水栓とフタをします。

- ・お風呂の温度や保温時間・湯はり量の調節方法は、17～20ページをご覧ください。
- ・自動湯はり中には循環アダプターから泡が出てくる場合があります。



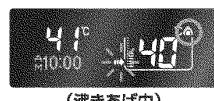
2 運転入/切 スwitchを押します。

- 表示画面に給湯・ふろ設定温度などが点灯し、同時に運転スイッチランプが緑色に光ります。



3 自動 スwitchを押します。

- 音声で「お湯はりをします」とお知らせして自動スイッチランプが赤く光り、浴槽に湯はりを始めます。このとき表示画面には右図の表示が出ます。
- 湯はり完了の約5分前にはプザーが鳴り、「残りおおよそ5分でお風呂に入れます」とお知らせします。
(注) 循環アダプターより上まで残り湯があるときやふろ設定湯量(水位)が少ない(5分以内に湯はりが完了する)ときに自動運転をした場合は、完了5分前のお知らせはしません。



- ・湯はり中に給湯栓から浴槽にお湯(水)を入れたり入浴したりすると、お湯があふれることがあります。自動運転の湯はり中は、他の給湯栓から浴槽にお湯(水)を入れないでください。
- ・自動運転の湯はり中にふろ温度を変更すると、それ以降に湯はりされるお湯の温度が変更後の温度に変わりますので、ぬるめに設定を変更した場合は、ご希望の温度より高めで湯はり完了することがあります。
- ・自動運転の湯はり中でもふろ湯量(水位)や保温時間を変更することはできませんが、ふろ湯量(水位)を低めに設定変更した場合、既に湯はりされている湯量(水位)より少なくしてもご希望の湯量(水位)より高めで湯はり完了します。
- ・浴槽の残り湯を排水するときは、自動スイッチランプ(赤)が消灯していることを確認してから行ってください。
- ・自動スイッチの「入」「切」を何度も繰り返さないでください。お湯があふれることがあります。
- ・保温中にお湯をもっとふやしたい場合は、たし湯スイッチ(23ページ参照)を押してください。約20リットルのお湯をたします。



- 湯はりが終わると音楽が鳴り、音声で「お風呂が沸きました」とお知らせします。また、表示画面には右図のような保温の表示が出ます。



- 保温の表示が出ている間は、お湯の温度が下がると自動的(注)においだし、全自動タイプはお湯が減ると自動的にたし湯します。この保温時間は18ページのふろ保温時間の変更方法で決めます。
(注) ふろ設定温度や気温などによって異なりますが、約10～40分ごとにふろ温度をチェックして、設定温度よりぬるくなっていれば自動的においだしします。冬場や入浴時(おいだきしたりふろ温度を変更したときなど)には、このチェック間隔が短くなります。
- 保温時間が終了すると保温の表示が消え、自動スイッチランプ(赤)も消えます。保温を途中で止めたいときは、自動スイッチを押して消灯させてください。
※湯はり運転中に給湯(シャワー)を使用した場合、給水温や給水圧などの条件によっては、給湯栓からお湯が少ししか出ないことやまったく出ないこともあります。(機器の異常ではありません)
- 保温の表示が出ている間にぬるく感じたときは、おいだしスイッチ(21ページ参照)を押すか、ふろ設定温度を上げてください。(17ページ参照)

- ・排気口から白い湯気が出る場合がありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。
- ・夏期など給水温度が高い場合は、設定湯量(水位)まで水はり後おいだし運転を行うことがあります。また、冬期など気温の低い場合では、ふろ設定温度まで沸きあげるのに時間がかかることがあります。
※上記のような場合は「残りおおよそ5分でお風呂に入れます」とお知らせしてから5分以上たっても湯はりが完了しないことがあります。(機器の異常ではありません)
- ・前日の残り湯を沸かし直す場合、自動スイッチを使うと湯量があふれ、お湯があふれることがあります。残り湯の量が十分にあるときの沸かし直しは、おいだしスイッチ(21ページ参照)をお使いください。(自動タイプ)
- ・残り湯で循環アダプターがかかっている場合、水位が多少バラツキます。(自動タイプ)
※特に残り湯の温度がふろ温度設定に近いときは、約6リットルだけ湯はりし、設定した量になりません。
- ・残り湯で循環アダプターがかかっていない場合、残り湯が「なし」と判断して自動運転を行ったり(全自動タイプ)、残り湯の分だけ水位が高くなるため(自動タイプ)、お湯があふれる場合があります。

使用方法 ④

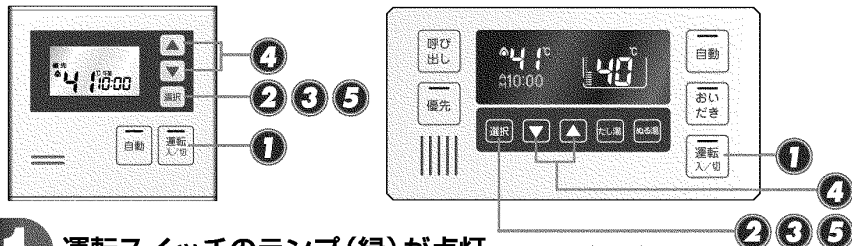
ふろ温度の調節方法

● どのリモコンでも操作できます。

※お買い上げの際には、ふろ温度は42℃に設定されています。

(台所リモコン・増設リモコン)

(浴室リモコン)



1 運転スイッチのランプ(緑)が点灯していることを確認します。

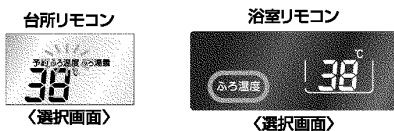
● 点灯していない場合は、スイッチを押します。

2 スイッチを押します。

● 選択画面が表示されます。

3 スイッチを押して、「ふろ温度」を表示させます。

● 台所・増設リモコンでは、選択されているメニューは点滅します。



4 または スwitchを押して、ふろ温度を設定します。

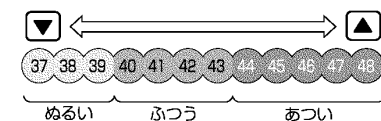
● スwitchを押すと温度が上がるメロディーと共に「ふろ温度を○○℃に設定しました」とお知らせします。

● スwitchを押すと温度が下がるメロディーと共に「ふろ温度を○○℃に設定しました」とお知らせします。

● 設定できる温度は37℃～48℃の12段階です。1℃きざみで一回スwitchを押すと1℃変わります。

● または スwitchを押し続けると、45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46℃以上にしたいときはスwitchを1回ずつ押してください。

※温度表示はめやすです。



5 スwitchを押します。

● 設定が完了します。

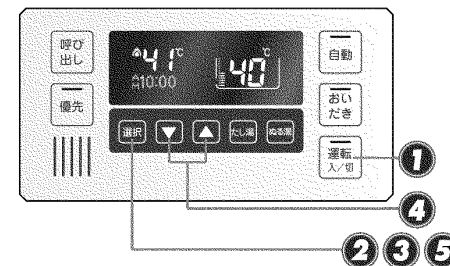
※ スwitchを押さない場合でも、スswitch操作のない状態が1分経過すると、自動的に設定が完了します。

使用方法 ⑤

ふろ保温時間の変更方法

● 浴室リモコンで設定します。

※お買い上げの際には、ふろ保温時間は4時間に設定されています。



1 運転スイッチのランプ(緑)が点灯していることを確認します。

● 点灯していない場合は、 スwitchを押します。

2 スwitchを押します。

● 選択画面が表示されます。

3 スwitchを押して、「保温」を表示させます。

4 または スwitchを押して、ふろ保温時間を変更します。

● ふろ保温時間は0・1・2・4・6・8時間の中から選択してください。

5 スwitchを押します。

● 「設定しました」とお知らせして、設定が完了します。

※ スwitchを押さない場合でも、スswitch操作のない状態が1分経過すると、自動的に設定が完了します。

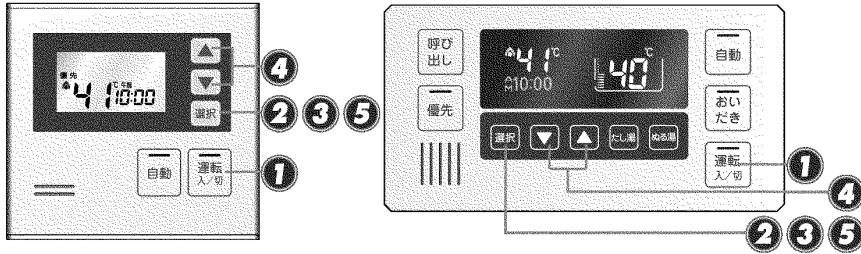


ふろ湯量 (水位) の調節方法

●どのリモコンでも操作できます。

(台所リモコン・増設リモコン)

(浴室リモコン)



1 運転スイッチのランプ(緑)が点灯していることを確認します。

●点灯していない場合は、**運転**スイッチを押します。



2 選択スイッチを押します。

●選択画面が表示されます。

3 選択スイッチを押して、「ふろ湯量」を表示させます。

●台所・増設リモコンでは、選択されているメニューは点滅します。



4 ▼または▲スイッチを押して、ふろ湯量を変更します。



5 選択スイッチを押します。

●「設定しました」とお知らせして、設定が完了します。

※**選択**スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると、自動的に設定が完了します。

■自動タイプと全自動タイプでは表示が異なります。それぞれ次のようになっています。

自動タイプの場合

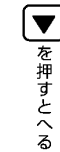
※自動タイプという湯量とは、浴槽に湯はりするお湯のめやすの量をいいます。

※はじめて電源を「入」にしたとき、湯量は約200リットルになっています。このとき水位表示は下から6番目で示されます。

●▲を押すたびに水位表示は1目盛ずつ上がり、湯量は右表のようにふえていきます。このとき、上がるメロディーでお知らせします。ただし、お子様のイタズラなどを防止するため、400リットルや990リットルに設定するときには、▲スイッチを1秒



初期設定→



湯量 (リットル)	水位表示 (下から)
(990)	表示なし
(400)	表示なし
350	12
300	11
280	10
260	9
240	8
220	7
200	6
180	5
160	4
140	3
120	2
100	1
80	(1)
60	(1)

以上押し続けなければ設定できないようになっています。また、400および990リットルに設定したとき水位表示は表示されません。

●湯量スイッチの▼を押すたびに水位表示は1目盛ずつ下がり、湯量は上表のようにへっていきます。このとき、下がるメロディーでお知らせします。ただし、80リットルや60リットルに設定するときには▼スイッチを1秒以上押し続けてください。

全自動タイプの場合

●全自動タイプでいう湯量(水位)とは、循環アダプターから何cm上まで湯はりするかというめやすをいいます。

●はじめて電源を「入」にしたとき、水位表示は下から6番目になります。この設定の場合、循環アダプターから約17cmの位置まで湯はりして自動停止します。ただしこの位置は、浴槽の形状などによってバラつきますので、下記の方法で好みの水位に設定してお使いください。

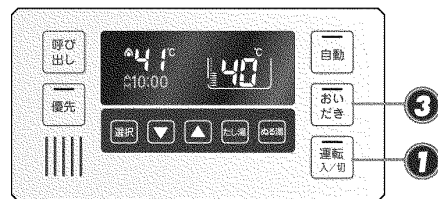
●湯量スイッチの▲を押すたびに水位表示は1目盛上がり、上がるメロディーでお知らせします。また、▼を押すたびに1目盛下がり、下がるメロディーでお知らせします。1目盛で水位が約2cm変わり、12段階に調節できます。最低設定で循環アダプターから約7cm上、最高で約29cm上になります。ただし浴槽によっては、高い水位に設定するとお湯があふれることがあります。

工場出荷時は洋式バス用の設定になっています。機器本体が和バス用の設定になっている場合、水位を下から6番目に設定すると循環アダプターから約25cm上まで湯はりします。1目盛は約3cmになります。浴槽の買い替えなどで洋式バス→和バスの切り替えが必要になったときは、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

使用方法 ⑦

おいだきしたいときは

- 浴室リモコンで操作します。
(台所・増設リモコンにはこの機能がありません)

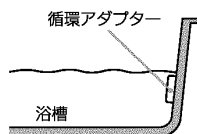


1 運転スイッチのランプ(緑)が点灯していることを確認します。

- 点灯していない場合は、スイッチを押します。



2 浴槽に、循環アダプターの上までお湯(水)が入っていることを確認します。



3 おいだきスイッチを押します。

- 「おいだきをします」とお知らせするとともに、おいだきスイッチのランプ(緑)が光り、湯温が約2℃上昇するまで(3~4分)おいだきします。
※水から沸き上げる場合など、約3分経過しても設定温度にならない場合は、ふる設定温度までおいだきします。
- 途中で止めたいときは、もう一度スイッチを押して、おいだきスイッチのランプを消灯させてください。



おいだき運転時には、循環アダプターから泡が出てくる場合があります。また循環アダプターからはあついお湯が出てきますので身体などに直接あてないようにしてください。

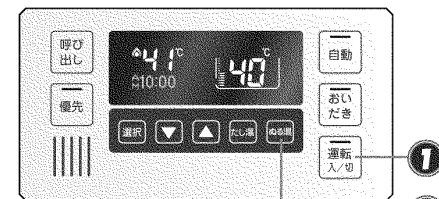
循環アダプターの上までお湯(水)が入っていないときにおいだきスイッチを押すと…

- 自動タイプは浴槽に約6リットル湯はりしますが、おいだきスイッチは消灯しておいだき運転に入りません。
- 全自動タイプは浴槽に約6リットル湯はりした後自動運転に切り替わり、おいだきスイッチのランプが消灯して自動スイッチのランプが光ります。この後は、15ページの自動運転と同じ動作(湯はり・保温)に入りますので、途中で止めたいときは自動スイッチを押してください。

使用方法 ⑧

おふろをぬるくするには

- 浴室リモコンで操作します。
(台所・増設リモコンにはこの機能がありません)



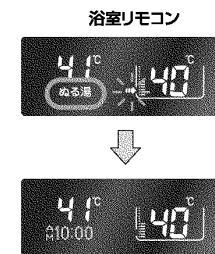
1 運転スイッチのランプ(緑)が点灯していることを確認します。

- 点灯していない場合は、スイッチを押します。



2 ぬる湯スイッチを押します。

- 「水をたします」とお知らせするとともに、ぬる湯運転を開始します。
※浴槽に約10リットル注水します。
(この機能は浴槽の残り湯の量に関係なく働きます)
- ※ぬる湯運転中は右図のぬる湯表示をします。
- 途中で止めたいときは、スイッチを押します。ぬる湯運転が止まり、ぬる湯表示が消えます。
- ※ぬる湯運転が終わると、ぬる湯表示が消えます。

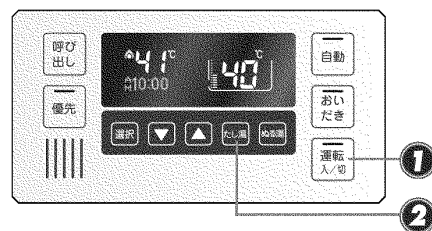


- 給湯(シャワー)使用中は、ぬる湯運転は一時中断されます。
- ぬる湯運転中に給湯(シャワー)使用すると、ぬる湯運転は一時中断され、注湯表示(矢印)は静止状態になります。このとき給湯栓からは水が出ることもあります。
- ぬる湯運転中、循環アダプターから泡が出る場合があります。

使用方法 ⑨

お湯をふやしたいときは

- 浴室リモコンで操作します。
(台所・増設リモコンにはこの機能がありません)



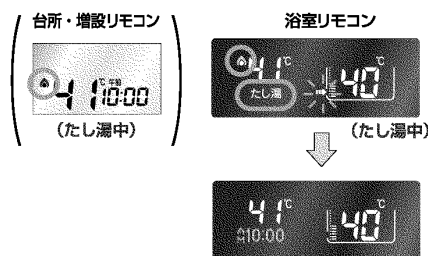
1 運転スイッチのランプ(緑)が点灯していることを確認します。

- 点灯していない場合は、スイッチを押します。



2 スイッチを押します。

- 「お湯をたします」とお知らせするとともに、たし湯運転を開始します。
- ※浴槽にふる設定温度のお湯約20リットルを湯はりします。
(この機能は浴槽の残り湯の量に関係なく働きます)
- ※たし湯運転中は右図のたし湯表示と給湯燃焼表示をします。
- 途中で止めたいときはスイッチを押します。たし湯運転が止まり、たし湯表示と給湯燃焼表示が消えます。
- ※たし湯運転が終わると、たし湯表示と給湯燃焼表示が消えます。

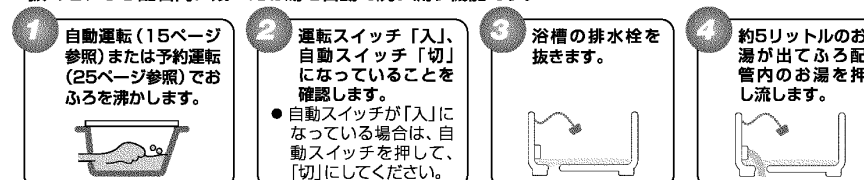


- ・給湯(シャワー)使用中は、たし湯運転は一時中断されます。
- ・たし湯運転中に給湯(シャワー)使用すると、たし湯運転は一時中断され、注湯表示(矢印)は静止状態になります。このとき給湯栓からはふる設定温度のお湯が出ることがあります。
- ・たし湯運転中、循環アダプターから泡が出ることがあります。

使用方法 ⑩

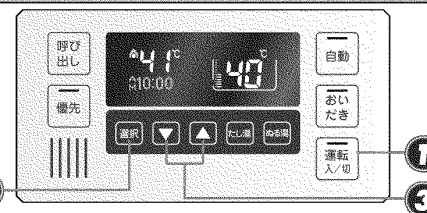
セルフクリーン機能の使いかた

- 全自動タイプの機器の場合のみご利用いただけます。
- ※セルフクリーン機能とは、全自動タイプで自動運転や予約運転でお風呂を沸かした後にお風呂のお湯を抜くと、ふる配管内に残ったお湯を自動で洗い流す機能です。



- ・運転スイッチを「切」の状態に残り湯を排水すると「セルフクリーン機能」ははたらきません。うっかり運転スイッチを「切」にしてしまった場合は、浴槽の排水栓を抜く前に必ず運転スイッチを「入」にしてください。
- ・前日から運転スイッチが「入」のままであれば、翌日排水栓を抜いても「セルフクリーン機能」ははたらきません。
- ・セルフクリーン運転中は、表示画面に自動運転の湯はり中と同じ表示が出ます。
- ・セルフクリーン運転中にお湯を使うと、セルフクリーン機能は解除されます。
- ・自動スイッチを「切」にしてもしばらくポンプが回っています。浴槽の排水栓を抜くのはポンプ停止後(循環アダプターからお湯が出なくなってから)にしてください。セルフクリーン機能が働かない場合があります。

- お買い上げの際には、セルフクリーン機能は「入」に設定されています。セルフクリーン機能を使用しない場合は、下記の手順で「切」にすることもできます。
- ※以下の操作はすべて浴室リモコンで行ってください。台所・増設リモコンでは操作できません。



1 運転スイッチのランプ(緑)が点灯していることを確認します。

- 点灯していない場合は、スイッチを押します。



2 スイッチを押して、選択画面を表示させます。続けてスイッチを押して「セルフクリーン」を表示させます。



3 またはスイッチを押して、「切」を表示させます。



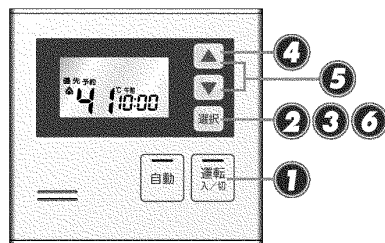
4 スイッチを押します。

- 「設定しました」とお知らせして、設定が完了します。
- ※スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると、自動的に設定が完了します。
- 再度「入」にするときは、①～②の操作を行った後でまたはスイッチを押して「入」にしてください。



お好きな時間に湯はりする「予約運転」のしかた

- 台所リモコンで設定します。
(浴室・増設リモコンにはこの機能がありません)
- 必ず現在時刻設定を行ってから操作してください。(13ページ参照)



1 運転スイッチのランプ(緑)が点灯していることを確認します。

- 点灯していない場合は、**[運転]**スイッチを押します。



2 **[選択]**スイッチを押します。

- 選択画面が表示されます。

3 **[選択]**スイッチを押して、「予約」を選択します。

- 選択されているメニューは点滅します。



4 **[▲]**スイッチを押します。

- 時刻設定モード(「入」が点滅)になります。

5 **[▼]**または**[▲]**スイッチを押して、予約時刻(湯はり完了時刻)を設定します。

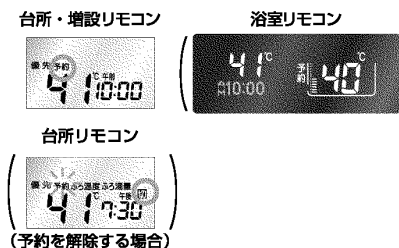
- ※ 予約時刻のセット方法は、13ページの時計の合わせかたの**[5]**を参照ください。(午前・午後に注意!)
- 右図は午前7時30分に湯はり完了したい場合の例です。



・浴室リモコンのみ設置の場合は予約運転はできません。
・予約運転の予約時刻は、現在時刻より30分以降に設定してください。30分以内になると、浴槽が大きいときや機器への給水圧が低いときなどに、予約時刻になってもお風呂への湯はり完了しないことがあります。

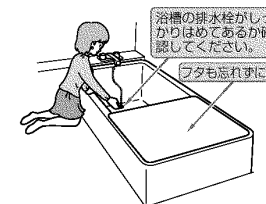
6 **[選択]**スイッチを押します。

- 「設定しました」とお知らせして、操作が完了します。
- ※ **[選択]**スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると、自動的に設定が完了します。
- 予約を解除するときは、**[1]~[5]**の操作を行った後、**[▼]**スイッチを押して「切」にしてください。



7 浴槽に排水栓とフタをします。

- ※ 運転スイッチは「切」にしないでください。「予約」が消え、予約運転がキャンセルされます。



- ※ 残り湯があるときやふろ設定湯量(水位)が少ないときに予約運転をした場合、湯はり完了5分前のお知らせはしません。また、自動タイプをお使いの場合、残り湯で循環アダプターがかくれている状態で予約運転を行うと、残り湯の分だけ水位が高くなり、お湯があふれる場合があります。



- ※ 湯はり完了して予約した時刻になるとメロディが鳴り、音声で「お風呂が沸きました」とお知らせします。このとき表示画面には、上図のような「保温」の表示が出て保温運転に入ります。(保温時間については18ページ参照)

(注) 予約運転の場合は、予約時刻の約30分前から湯はり運転を開始します。なお、浴槽の大きさや設定湯量・湯はり温度・給水圧・給水温などの条件によっては、湯はり完了時刻と予約時刻がズれることもあります。異常ではありません。

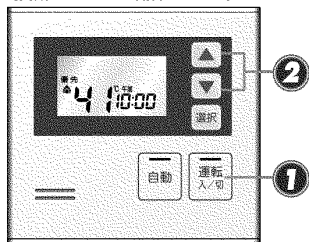
- **[5]**の操作で決めた予約時間は運転スイッチを「切」にしても機器が記憶しています。予約時間を確認したいときは、**[1]~[5]**の操作を行ってください。
- 毎日同じ時刻に湯はり(お風呂沸かし)をする場合は、予約時刻の30分以上前に、毎日**[1]~[5]**および**[6] [7]**の操作を行ってください。
- 排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

※ 浴槽に残り湯があるときに予約運転を行うと、お風呂の沸き上がり時刻に大きなバラツキが出る場合がありますが異常ではありません。

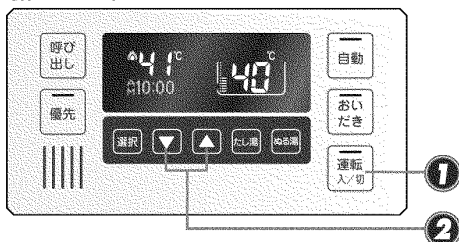
シャワー・台所・洗面所などの給湯温度の調節

●どのリモコンでも操作できます。

(台所リモコン・増設リモコン)



(浴室リモコン)



1 運転スイッチのランプ(緑)が点灯していることを確認します。

点灯していない場合は、スイッチを押します。運転スイッチを「入」にしたリモコンには優先表示または、優先スイッチランプ(オレンジ)が点灯します。



2 ▼ または ▲ スイッチを押して、給湯温度を設定します。

● ▲ スイッチを押すと温度が上がるメロディーと共に「給湯温度を〇〇℃に設定しました」とお知らせします。また、▼ スイッチを押すと温度が下がるメロディーと共に「給湯温度を〇〇℃に設定しました」とお知らせします。

● ▼ または ▲ スイッチを押し続けると45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46℃以上にしたいときはスイッチを1回ずつ押してください。

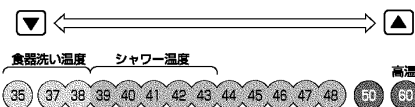
※調節できる温度は35℃～60℃の15段階です。ただし、131-R440・R442型は35℃には設定できません。1回スイッチを押すたびに1段階ずつ変わります。

右図は60℃に設定した場合ですが、実際の温度は季節や配管の長さによって異なります。およそのめやすとお考えください。

※低い給湯温度に設定した場合、給水温度の高い条件では設定温度よりも熱いお湯が出ることもありますが異常ではありません。

※給湯設定温度を60℃にセットすると「あついお湯が出ます」「給湯温度を60℃に設定しました」とお知らせし、表示画面に「高温」を表示して注意を促します。

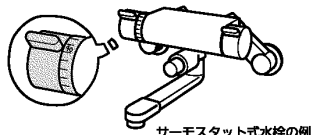
※サーモスタット式水栓をご使用の場合は、リモコンの設定温度をご希望の温度(ハンドルの温度)より高めにしてください。詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。



台所・増設リモコン

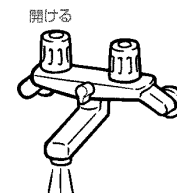


浴室リモコン



サーモスタット式水栓の例

●給湯栓を開くとお湯が出ます。
※お湯を使っている間は、表示画面に右下図のような燃焼表示をします。
※湯量を絞るすぎる(毎分約2リットル以下にする)とバーナの火が消えます。



浴室リモコン



台所・増設リモコン



- ・お買い上げの際には、お湯の温度を42℃に設定してあります。
- ・湯量が給湯能力以上の場合、リモコンの表示よりもぬるいお湯が出る場合がありますので、湯量を絞ってお使いください。
- ・給水温が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出る場合があります。やけど防止のため、このような場合は湯量を多めにし、湯温を確認してからお使いください。
- ・リモコンから出る音声について詳しくは32ページをご覧ください。
- ・湯はり中は、リモコンの表示とは異なる温度のお湯が出る場合があります。
- ・排気口から白い湯気が出る場合がありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。
- ・停電復帰時は運転スイッチが入っていない状態になり、その後運転スイッチを入れたりリモコンに優先が移ります。このとき、それぞれのリモコンの温度設定は停電前と同じ設定です。

警告

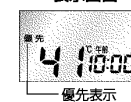
- 高温でお湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
- おふる(特にシャワー)の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンの運転スイッチを「切」にしないでください。お湯が急に水になります。
- やけど防止のため、おふる(特にシャワー)の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。シャワーの温度もこの給湯温度スイッチで決まります。

※リモコンの運転スイッチが「切」の状態の水を使用する場合、混合水栓は必ず「水」の位置で使用してください。「湯」の位置で水を流すと、機器内に結露して点火不良や故障の原因になります。

? 運転スイッチが「入」になっているのに給湯温度が調節できないときは?

・給湯温度が調節できるのは、表示画面に「優先」の表示が出ているもしくは、優先スイッチランプ(オレンジ)が点灯しているリモコンだけです。これはやけどなどの事故を防ぐため、「優先」表示をしていないリモコンで▼▲スイッチを押すと、「給湯温度は変更できません」とお知らせします。

台所・増設リモコンの表示画面



浴室リモコン



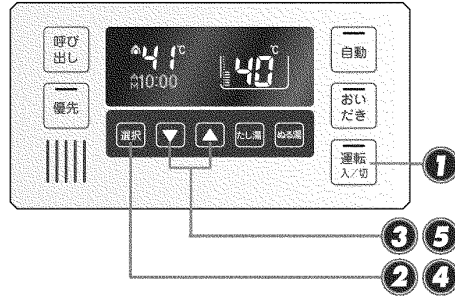
・優先権を切り替えるには、浴室リモコンの優先スイッチを押します。優先スイッチを一回押すたびに、優先権が「浴室リモコン」→「台所・増設リモコン」→「浴室リモコン」……と交互に切り替わります。



浴室リモコン優先のときは優先スイッチランプがオレンジ色に光ります。

ゆらぎのシャワーの使いかた

●浴室リモコンで操作します。
(台所・増設リモコンにはこの機能がありません)



1 運転スイッチのランプ(緑)が点灯していることを確認します。

●点灯していない場合は、スイッチを押します。



2 スイッチを押して、選択画面を表示させます。続けてスイッチを押して「ゆらぎ」を表示させます。



3 またはスイッチを押して、「入」を表示させます。

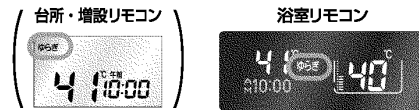


4 スイッチを押します。

●「設定しました」とお知らせして設定が完了します。

※スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると自動的に設定が完了します。

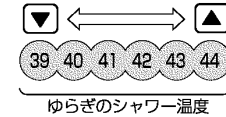
●設定完了後に表示される「ゆらぎ」は約15分で自動的に消えます。



・排気口から白い湯気が出る場合がありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

5 またはスイッチを押して、シャワーの温度を設定します。

●設定できる温度は39℃～44℃の6段階です。
※給湯設定温度が右記以外の場合にまたはスイッチを押すと、設定温度が35℃・37℃・38℃のときには39℃、45℃以上のときには44℃のゆらぎのシャワーになります。



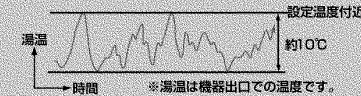
警告

- 高温で給湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
- やけど防止のため、お風呂(特にシャワー)の使用中は、絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。
- 下記の方はゆらぎのシャワーを使用すると体調をくずすことがあります。
 - ・妊娠中の方
 - ・医者から入浴を禁じられている方
 - ・お酒を飲んだあとや深酒をされた方
 - ・高血圧の方/体力の弱っている方/体調の悪い方

注意

- 給水温が高い場合や、シャワー流量が少ない場合、またサーモ付混合水栓などの付いたシャワーでは快適なゆらぎのシャワーの効果が得られないことがあります。
- サーモ付混合水栓の場合は、サーモスタットを高温設定にして水を混ぜずにお使いください。
なお、やけど防止のため使用後はもとの設定に戻しておいてください。

・ゆらぎのシャワーとは、リモコンで設定された給湯温度とそれより約10℃ぬるい温度間で、毎回違ったパターンで湯温がゆらぎながら出てきます。



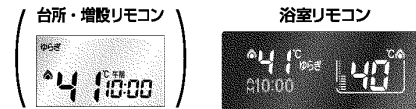
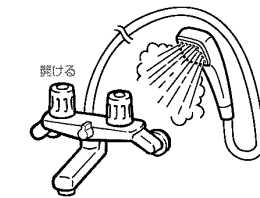
・湯あがりの体が暖まっているときにゆらぎのシャワーを使用すると、湯ざめの防止、全身のマッサージとともに心身のリフレッシュにも効果があります。さらに、朝のめざまし促進にも有効です。

6 シャワー栓を開いてゆらぎのシャワーを出します。

●ゆらぎのシャワーは連続15分使用すると自動的にキャンセルされ、その後は5で設定した温度のお湯が出ます。

●シャワー栓を閉めると、ゆらぎのシャワーは自動的に終了し、表示画面のゆらぎの表示が消えます。

※ゆらぎのシャワー使用中に他の給湯栓でお湯を使うと、ゆらぎのシャワー同様に湯温が変化しながら出てきます。

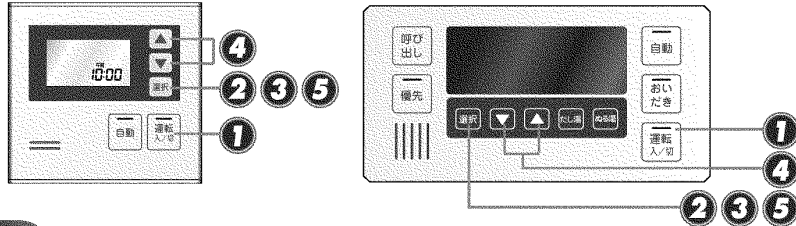


音声やメロディーの大きさ(音量)を変えるには

●各リモコン別々に設定することができます。

(台所リモコン・増設リモコン)

(浴室リモコン)



1 運転スイッチのランプ(緑)が消灯していることを確認します。

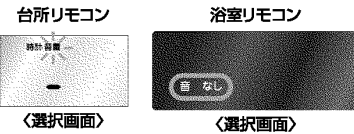
- 点灯している場合は スイッチを押します。
- ※運転「切」の状態でのみ設定できます。

2 選択スイッチを押します。

- 選択画面が表示されます。

3 選択スイッチを押して、台所・増設リモコンの場合は「音量」を選択し、浴室リモコンの場合は音量設定画面を表示させます。

- 台所・増設リモコンでは、選択されているメニューは点滅します。



4 ▼または▲スイッチを押して、音量を変更します。

- 音声はお買い上げの際には中(標準)にセットされています。
- 特に、音声と湯はり完了の音楽の音量については、下表のように変わります。

▼ ▲スイッチを押したときにお知らせする音声	台所・増設リモコンの表示	浴室リモコンの表示	音声	湯はり完了の音楽
を押す	(ビッ) 音声は大です	3	音声 大	大
初期設定	(ビッ) 音声は標準です	2	音声 中	中
を押す	(ビッ) 音声は小です	1	音声 小	小
を押す	(ビッ) 音声を消します	0	音声 消	なし
を押す	(ビッ) 音を消します	—	音 なし	なし

- 音声および音を消しても、注意を喚起する音声およびブザー音だけは消すことはできません。ただし、増設リモコンについては「音なし」に設定するとブザー音は鳴りません。

5 選択スイッチを押します。



●各スイッチを押したときに出る音声は下表の通りです。()内は同時に出る電子音など、○℃は設定される温度

操作するスイッチ・条件など	浴室リモコンから出る音声	台所・増設リモコンから出る音声	
運転(「入」にする)	給湯温度が60℃以外 給湯温度が60℃のとき (ビッ)あついお湯が出ます	給湯温度が60℃以外 給湯温度が60℃のとき (ビッ)あついお湯が出ます	
優先	浴室→台所へ優先切替	給湯設定温度変化なし 60℃以外 給湯設定温度変化あり 60℃以外 (ビッ)あついお湯が出ます (ビッ)給湯温度が変更されました	給湯設定温度変化なし 60℃以外 給湯設定温度変化あり 60℃以外 (ビッ)あついお湯が出ます (ビッ)給湯温度が変更されました
	台所→浴室へ優先切替	給湯設定温度変化なし 60℃以外 給湯設定温度変化あり 60℃以外 (ビッ)給湯温度が変更できます (ビッ)給湯温度が変更できません	給湯設定温度変化なし 60℃以外 給湯設定温度変化あり 60℃以外 (ビッ)給湯温度が変更できます (ビッ)給湯温度が変更できません
給湯温度 ▲	給湯温度(60℃設定)	浴室リモコン優先のとき (上がるメロディー)あついお湯が出ます 給湯温度を60℃に設定しました	給湯温度(60℃設定) (上がるメロディー)あついお湯が出ます 給湯温度を60℃に設定しました
	給湯温度 ▼	浴室リモコン優先のとき (下がるメロディー)給湯温度を00℃に設定しました	給湯温度(60℃設定) (下がるメロディー)給湯温度を00℃に設定しました
自動	湯はり	湯はりをするとき (ビッ)お湯はりをします	湯はりをするとき (ビッ)お湯はりをします
	自動湯はり終了時	湯はり完了時 (ビッ)お湯はりをします	湯はり完了時 (ビッ)お湯はりをします
おいだき	おいだき	おいだきをするとき (ビッ)おいだきをします	おいだきをするとき (ビッ)おいだきをします
	ぬる湯	ぬる湯をするとき (ビッ)水をたします	ぬる湯をするとき (ビッ)水をたします
ふる温度 ※	ふる温度	ふる温度を設定するとき (上がるメロディー)ふる温度を00℃に設定しました	ふる温度を設定するとき (下がるメロディー)ふる温度を00℃に設定しました
	湯量 ※	湯量を設定するとき (上がるメロディー)	湯量を設定するとき (下がるメロディー)
音量 ※	音量	音量を設定するとき (ビッ)音声を消します	音量を設定するとき (ビッ)音声を消します
	呼び出し	呼び出しをするとき (押し続けている間ビープビープ)	呼び出しをするとき (押し続けている間ビープビープ)

操作するスイッチ・条件など	台所・増設リモコンから出る音声	浴室リモコンから出る音声	
運転(「入」にする)	給湯温度が60℃以外 給湯温度が60℃のとき (ビッ)あついお湯が出ます	給湯温度が60℃以外 給湯温度が60℃のとき (ビッ)あついお湯が出ます	
給湯温度 ▲	台所・増設リモコン優先のとき (上がるメロディー)あついお湯が出ます 給湯温度を60℃に設定しました	給湯温度(60℃設定) (上がるメロディー)あついお湯が出ます 給湯温度を60℃に設定しました	
給湯温度 ▼	浴室リモコン優先のとき (下がるメロディー)給湯温度を00℃に設定しました	給湯温度(60℃設定) (下がるメロディー)給湯温度を00℃に設定しました	
自動	湯はり	湯はりをするとき (ビッ)お湯はりをします	湯はりをするとき (ビッ)お湯はりをします
	自動湯はり終了時	湯はり完了時 (ビッ)お湯はりをします	湯はり完了時 (ビッ)お湯はりをします
ふる温度 ※	ふる温度	ふる温度を設定するとき (上がるメロディー)ふる温度を00℃に設定しました	ふる温度を設定するとき (下がるメロディー)ふる温度を00℃に設定しました
	湯量 ※	湯量を設定するとき (上がるメロディー)	湯量を設定するとき (下がるメロディー)
音量 ※	音量	音量を設定するとき (ビッ)音声を消します	音量を設定するとき (ビッ)音声を消します
	時計設定・ふる予約 ※	時計設定・ふる予約 (ビッ)	時計設定・ふる予約 (ビッ)
静音・予備暖房 ※	静音・予備暖房 (ビッ)	静音・予備暖房 (ビッ)	

※この操作項目は選択画面にして設定する項目です。 スイッチで変更する際に音声でお知らせする項目以外は、 スイッチを押して設定確定後に「設定しました」とお知らせします。

冬期の凍結による破損防止について

●暖かい地域でお使いのお客様も必ずお読みください。

△ 注意

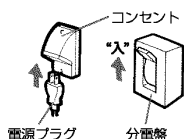
- 冬期は暖かい地方でも、給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防止するために、次のような処置をお取りください。
- 外気温が極端に低く（-15℃以下）なる日や、それ以上の気温でも風のある日は対策その①では凍結予防ができません。このような場合には、対策その②、その③の方法を行ってください。
- 凍結による破損の場合は、保証期間内でも有償修理となります。

対策その① 凍結予防ヒータと自動ポンプ運転による方法

- この機器には、外気温が下がると自動的に機器内を保温するヒータ（給湯側）と自動ポンプ運転装置（ふろ側）が組み込まれています。

■お客様に行っていただきたいこと

1. 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
 - 抜けているとヒータ・ポンプとも作動しませんのでご注意ください。



2. 浴槽の残り湯が循環アダプターより5cm以上、上にある状態にしておいてください。
 - 機器が外気温を感知し、自動的にポンプ運転を行います。

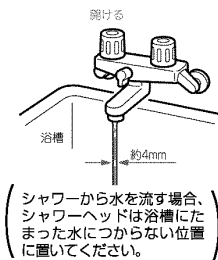


対策その② 給湯栓から水を流す方法

- この場合は機器本体だけでなく、給水・給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。ただし、ふろはポンプ運転により凍結を予防しますので、上記対策その①同様電源プラグをコンセントから抜かず、浴槽の循環アダプターより5cm以上上まで残り湯があることを確認してください。

■操作のしかた

- リモコンの運転スイッチを「切」にします。
- 浴槽に排水栓をしてからおふろの給湯栓を開け、1分間に約400ミリリットルの水を浴槽に流しておいてください。
 - ※この場合、浴槽から水があふれることがあります。
 - ※サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置にしてください。
 - ※浴槽の近くに給湯栓がない場合は、シャワーホースを浴槽まで伸ばしてシャワー栓を開けてください。



△ 注意

- 水量が不安定なことがあります。念のため、30分ぐら以後にもう一度水量をご確認ください。
- サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、再使用時の設定温度にご確認ください。

対策その③ 水抜きによる方法

- 機器内の水を抜き、凍結を予防する方法です。外気温が極端に低くなる場合は、この方法で行ってください。また、長期間にわたって機器を使用しないときも、必ずこの《水抜き》を行ってください。
 - ※使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷めてから行ってください。

■ふろ側・給湯側の双方で行います。

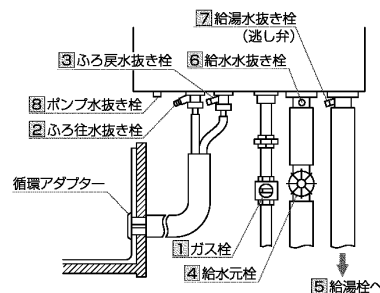
1. 給湯側の水抜き

- ①運転スイッチを「切」にしてください。
(電源プラグはまだ抜かないでください)
- ②ガス栓①を閉めてください。
- ③給水元栓④を開けてください。
- ④給湯栓⑤をすべて(シャワーなどを含む)開けてください。
- ⑤給湯水抜き栓⑦⑨を開けてください。(⑨は131-R500・R510型のみ)
- ⑥給水水抜き栓⑥を開けてください。
- ⑦中和器水抜き栓⑩を開けてください。(⑩は131-R500・R510型のみ)

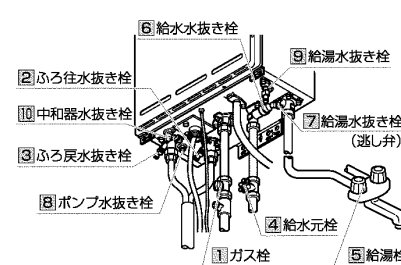


給湯側から先に水抜きを行ってください。

131-R440・R442型の場合



131-R500・R510型の場合



2. ふろ側の水抜き

- ①ガス栓①が閉めてあることを確認してください。
- ②給水元栓④が閉めてあることを確認してください。
- ③浴槽の水を排水してください。(浴槽の排水栓を抜いてください)
- ④浴室リモコンの運転スイッチを押して(「入」にする)ください。
 - ※表示画面が点灯します。
- ⑤浴室リモコンのおいだしスイッチを押して(「入」にする)、浴槽の循環アダプターから水(お湯)が出てくることを確認してください。
 - ※2階浴槽など、浴槽が機器より高い位置にある場合は、ふろ往水抜き栓②を開けてから、浴室リモコンのおいだしスイッチを押して(「入」にする)、ふろ往水抜き栓②より水(お湯)が出てくることを確認してください。
- ⑥排水が止まったら再度おいだしスイッチを押して(「切」にする)おいだし運転を中止し、もう一度おいだしスイッチを押して(「入」にする)排水運転し、約1分間そのままにしておいてください。

冬期の凍結による破損防止について

- ⑦排水の確認後、運転スイッチを押して〔切〕にしてください。
 ※排水運転のまま数分間放置すると表示画面に故障表示が点滅する場合がありますが、異常ではありません。
- ⑧ふろ往水抜き栓②・ふろ戻水抜き栓③・ポンプ水抜き栓④を開けてください。
 ⑨電源プラグを抜いてください。(分電盤の専用スイッチを〔切〕にしてください)



・以上の操作で機器内の水が排水されますので、次にお使いになるまで給湯栓や水抜き栓は開けたままにしておいてください。
 ・ふろの水抜きを行った後は、浴槽に水を流し込まないでください。

〈水抜き〉をした機器を、次に使うときは…

1. 機器給湯側に通水してください。

- ①給湯栓⑤をすべて(シャワーなどを含む)閉めてください。
 ②給水水抜き栓⑥・給湯水抜き栓⑦⑧を開けてください。(⑧は131-R500・R510型のみ)
 ③中和器水抜き栓⑨を開けてください。(⑨は131-R500・R510型のみ)
 ④給水元栓④を全開にしてください。
 ⑤給湯栓⑤を開け通水を確認した後、給湯栓⑤を閉めてください。

2. 機器ふろ側に通水してください。

- ①ふろ往水抜き栓②・ふろ戻水抜き栓③・ポンプ水抜き栓④をすべて閉めてください。
 ②電源プラグをコンセントに差し込んでください。
 (分電盤の専用スイッチを〔入〕にしてください)
 ③リモコンの運転スイッチが〔切〕になっている(表示画面が消灯している)ことを確認した後、ガス栓①を全開にしてください。
 ④リモコンの運転スイッチを押して〔入〕にしてください。表示画面が点灯したら自動スイッチを押すと〔入〕にする)自動的に注水されます。
 ※表示画面に給湯燃焼表示が点灯し、浴槽の循環アダプターからお湯が出ることを確認してください。
 ⑤もう一度自動スイッチを押す〔切〕にすると、自動湯はりを中止します。

3. 機器への通水が終了しましたら、運転スイッチを押して〔切〕にする)、表示画面が消灯するのを確認してください。



再度使う場合の〈通水〉は、給湯側から行ってください。

点検・お手入れのしかた

点検・お手入れの際は、次のことにご注意ください。

- 安全にお使いいただくために、こまめに点検・お手入れを行ってください。
- お手入れは、必ず●ガス栓を閉め●電源プラグを抜き●機器が冷めてから行ってください。
- フロントカバーなどは決してはずさないでください。

■点検…次のことにご注意ください。

- 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
- 機器の外観に異常は見られませんか？また、各部品とも正しくセットされていますか？
- 機器および配管から水漏れはありませんか？
- 機器のまわりや排気口・排気筒トップのそばに燃えやすいものはありますか？
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルタ(金網)を掃除してください。
- 機器本体には安全に関する注意ラベルが張ってあります。汚れたり、読めなくなったときはやわらかい布などで汚れを拭き取ってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたり読めなくなった場合は、新しいラベルに張り替えてください。ラベルについては販売店にお問い合わせください。
- 定期点検のおすすめ(有料)
 ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心して長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。
 なお、給水用具(逆流防止装置)については、(社)日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4年～6年に1回程度をおすすめします。点検は販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。



水圧の低い地域では、泡沫器や浄水器を使用しないでください。お湯の量が少なくなります。

■お手入れ方法は

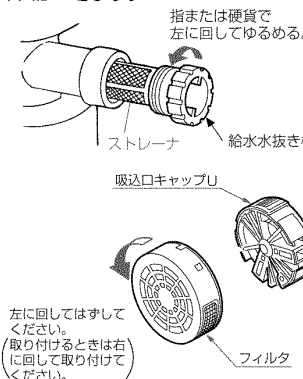
- 機器やリモコンの表面が汚れたときは、台所用中性洗剤(食器・野菜洗い用)を含ませた柔らかい布で汚れをふき取った後、水を含んだ布で軽くふき取ってください。台所用中性洗剤(食器・野菜洗い用)以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないでください。表面の光沢や印刷・文字などが消えたりキズがつきます。

- 台所・増設リモコンは防水タイプではありません。浴室リモコンは防水タイプですが、むやみに水をかけないでください。故障の原因となります。
- 給水水抜き栓先端のストレーナにゴミなどが付いているとお湯の量が少なくなります。こんなときは給水元栓を閉めてから給水水抜き栓をはずして、ストレーナに付いているゴミを取り除いてください。特に近くで水道配管工事などがあつたときはご注意ください。

※必ず給水元栓を開めてから行ってください。

- 機器の給気口(フロントカバーの穴)がほこりやゴミで詰まったまま使用すると、不完全燃焼などの原因となります。給気口のほこりやゴミを十分に取り除いてご使用ください。
- 循環アダプターのお手入れは
 浴槽内のフィルタをはずし、こまめに掃除してください。フィルタは手ではずせません。掃除後は必ずフィルタをもと通りに取り付けて使用してください。

フィルタを取りはずしたまま使用すると、機器の故障の原因となります。



左に回してはずしてください。(取り付けるときは右に回して取り付けてください。)

長期間使用しない場合は

長期間使用しない場合は次のことを行ってください。

1 ガス栓を閉めます。



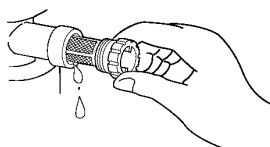
機器の下部

2 給水元栓を閉めます。

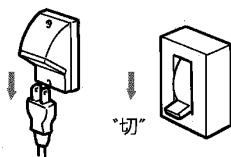


機器の下部

3 機器の水抜きをします。(34・35ページ参照)



4 電源プラグを抜きます。(分電盤の専用スイッチを「切」にしてください)



機器付近の壁・分電盤

警告

ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の恐れがあります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ってもよく調べてみると故障ではない場合もあります。修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。

「温度」に関する内容

こんなとき	点検項目	参照ページ
給湯栓を開いてもお湯が出ない	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ 断水していませんか？ 給湯栓は十分に開いていますか？ ガスメータ（マイコンメータ）がガスをしゃ断していませんか？ LPガスの場合、ガスがなくなっていないですか？ 水抜き栓のストレーナにゴミなどが詰まっていますか？ 凍結していませんか？ 運転スイッチは「切」になっていませんか？	(36ページ)
給湯栓を開いてもすぐお湯にならない	機器から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。	
低温のお湯が出ない	給湯温度設定は適切ですか？ お湯の量を絞っていませんか？ 給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。 夏期などの水温が高いときには、設定温度よりも熱いお湯が出ることもありますが、異常ではありません。	(27・28ページ)
高温のお湯が出ない	給湯温度設定は適切ですか？ 冬期など、水温が低いときに高温のお湯を多く出そうとすると、設定した温度（高温）のお湯が出ない場合があります。 給湯栓を少し閉めてお湯の量を少なくすれば、設定したお湯の温度になります。 混合水栓をご使用の場合、水が回り込んでお湯がぬるくなる場合があります。 自動運転の湯はり中やたし湯運転中に台所などでお湯を使うと、リモコンの表示はそのままでふる設定温度のお湯が出ます。また、湯はり・たし湯運転終了後一旦お湯の使用をやめるまでは、やけど防止のためふる設定温度のお湯がでます。	(27・28ページ)
給湯栓を絞ると水になった	この機器は通水量が毎分2リットル以下になったときには消火します。 給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯が出ます。	
給湯温度の調節ができない	操作しているリモコンの優先ランプは点灯していますか？	(28ページ)
ふる設定温度どおりに沸き上がらない	お湯はり中にふる温度を低く設定しなおした場合、実際の沸き上がりの温度は設定温度より高くなる場合があります。	
ゆらぎのシャワーができない ゆらぎのシャワーのお湯がゆらぎながら出ない	夏期などは、給水温が高くなりゆらぎのシャワーの効果が得られないため、機器が自動的にゆらぎのシャワー運転を停止させるためです。また、配管が長い場合は湯量が少なくなることもあります。	
湯温が変動して安定しない	ゆらぎのシャワーになっていませんか？ 運転スイッチを「切」にしてスムーズに通水することを確かめた後給湯栓を閉め、約20秒後に再操作してください。それでも異常のときは故障（水量制御装置）ですので、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。	(29・30ページ)

故障かな？と思ったら

「湯はり・湯量」に関する内容

こんなとき	理由	参照ページ
給湯栓から出るお湯の量が変わる	お湯を使用中、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があります。水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。 給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変わるものがあります。	
湯はりの量が設定した湯量にならない	浴槽の循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっていますか？ 湯はり量の設定は適切ですか。 浴槽の残り湯がある状態で湯はり運転をすると、その分だけ水位が高くなります。 おふろの排水栓はしっかりと閉めてありますか。 おふろの自動運転が完了しないうちに自動スイッチを何度も「切」にしたり「入」にしたりを繰り返すと、お湯があふれることがあります。	(36ページ) (19・20ページ)
オーバーフロー口からお湯が少しの間出ることがある	断水の後や機器の水抜きをした後に再度ご使用の場合、少しの間お湯が出ることがありますが異常ではありません。ただし、連続して出続ける場合は、機器の故障が考えられますので、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。	

「音」に関する内容

こんなとき	理由	参照ページ
出湯停止後しばらくの間ファンの回転音がある	再使用時の点火をより早くするため、出湯停止後もしばらく回転しています。	
浴槽の循環アダプターから「ポコ、ポコ」と空気の出る音があることがある	おいただき配管などにたまった空気が出る音で、異常ではありません。	
ポンプの回転音(ウーン)がする	おいただき終了後、お湯をまぜるためにポンプがしばらく回ることがあります。 おふろの自動沸かしの予約時、予約時刻の約30分前に、残り湯チェックのためポンプの運転をします。 気温が下がると、凍結予防のため、ポンプで浴槽の水を循環させます。	

「リモコン」に関する内容

こんなとき	理由	参照ページ
運転ランプが点灯しない	停電していませんか？ 電源プラグが差し込まれていますか？ 機器内の漏電安全装置が作動していませんか。一旦分電盤の専用スイッチを「切」にしてから再度「入」にするか、電源プラグをコンセントから抜いて再び差し込んでから再操作してください。	
リモコンの時刻表示が「-:-」になっている	停電後、再通電すると台所リモコンの表示画面の時刻が「-:-」になります。再度設定しなおしてください。 (13ページ)	
停電または電源プラグを抜いた後、給湯温度が変わってしまう	停電または電源プラグを抜いた後、再通電すると給湯設定温度がお買い上げ時の設定に変わる場合がありますので設定しなおしてください。	
リモコンの画面表示がいつものまにか消えている	セーブモードの設定にしてある場合、給湯を使用してから約25分たつと表示画面が消えます。 (14ページ) 再使用したりいずれかのスイッチを押すと、表示画面が再び点灯します。	
スイッチを押してもそのスイッチの動作をしない	表示の節電(セーブモード)がはたらいているときに▼▲☒スイッチを押すと、いったん表示節電画面から給湯温度表示画面に戻り、もう1度押すとそのスイッチの動作をします。 (14ページ) 運転スイッチの「入」・「切」は、運転スイッチのランプ(緑)の点灯・消灯で確認してください。	

故障かな？と思ったら

その他

こんなとき	理由	参照ページ
故障表示が点滅する	運転スイッチを「切」にし、約3秒後、もう一度「入」にしてください。それでも点滅するときは故障ですので、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。(42ページ)	
使用中に消火した	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ 断水していませんか？ 給湯栓は十分に開いていますか？ ガスメーター（マイコンメーター）がガスをしゃ断していませんか？ LPガスの場合、ガスがなくなっていないですか？	
排気口・排気筒トップから白い湯気が出る	冬に吐く息が白く見えるように、燃焼排ガス中の水蒸気が白い湯気に見えますが、故障ではありません。特に高効率タイプの機器ではこの現象が多く起こります。	
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違ってまったく無害なものです。	
自動運転の湯はり完了まで通常より時間がかかる	おふろの自動運転中にお湯を使うと、お湯はりに時間がかかります。また、夏期など給水温度が高い場合は、設定湯量（水位）まで水はり後おいだき運転を行うことがあるため、沸き上げるのに時間がかかることがあります。	
おいだきができない おいだき中に消火した	浴槽の循環アダプター上部より5cm以上お湯または、水が入っていますか？ 浴槽の循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっていますか？	(36ページ)
浴槽の循環アダプターからお湯が出たり止まったりする	自動スイッチを押すと、残り湯の量を確認するためにポンプが動き、しばらくは循環アダプターからお湯が出たり止まったりします。	
おふろを使用していないのに浴槽の循環アダプターからお湯がでる	浴槽のお湯（水）を排水したあと、セルフクリーン機能がはたらくと、循環アダプターからお湯が出ます。	
セルフクリーン機能がはたらかない（全自動タイプのみ）	次の場合はセルフクリーン機能ははたらきません。 ・運転スイッチ「切」の場合 ・ふり自動スイッチ「入」の場合 ・残り湯が循環アダプター上部より下にある場合 ・おいだき運転で水からおふろを沸かし上げたあと ・洗濯注湯ユニットの使用または使用したあと（注水のモードによっては、はたらく場合もあります） ・セルフクリーン機能が「切」の設定になっている場合（24ページ）	
逃し弁（34ページの図中の〔ア〕）からお湯（水）が少しの間出ることがある	機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきによって逃し弁から水滴が落ちることがあります。	
水が青く見える 浴槽や洗面台が青く変色した	水中に含まれるわずかな銅イオンが水中に溶けだして青色の化合物が生成され、水が青く見えたり、浴槽や洗面台が青く変色することがありますが健康上問題ありません。浴槽や洗面台はこまめに掃除することにより、変色しにくくなります。	

※以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

機器が故障すると表示画面の時刻表示部または給湯温度表示部に下図のような故障表示が点滅し、運転スイッチのランプ（緑）が点滅します。故障表示が点滅した場合は次の操作をしてください。

1 ガス栓と給水元栓が十分開いてあるか確認します。

全開にする
ガス栓 給水元栓
機器の下部

2 お湯を使っている場合は、給湯栓を閉めます。

全閉にする

3 運転スイッチを「切」にして、再び「入」にします。

運転
入/切

4 再び使用してみてください。

●上記の操作をしても故障表示が点滅するときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。



故障表示	使用状態	故障表示	使用状態	故障表示	使用状態	故障表示	使用状態
032	自動 おいだき たし湯 ぬる湯	140	給湯 自動 おいだき たし湯	432	自動 おいだき	721	給湯 自動 おいだき たし湯
100	給湯 自動 おいだき たし湯	161	給湯 自動 おいだき たし湯	502	自動 おいだき たし湯 ぬる湯	722	自動 おいだき
101	給湯 自動	190	給湯 自動 おいだき たし湯・ぬる湯	520	給湯 自動 おいだき たし湯	900	給湯 自動 おいだき たし湯
110	給湯 自動 おいだき たし湯	252	自動 おいだき	610	給湯 自動 おいだき たし湯	901	給湯 自動
111	給湯 自動 おいだき たし湯	291	給湯 自動 おいだき たし湯	632	自動 おいだき	921	給湯 自動 おいだき たし湯
112	自動 おいだき	312	自動 おいだき	661	自動 おいだき	931	給湯 自動 おいだき たし湯
120	給湯 自動 おいだき たし湯	321	給湯 自動 おいだき たし湯	710	給湯 自動 おいだき たし湯	990	給湯 自動 おいだき たし湯
121	給湯 自動 おいだき たし湯	331	給湯 自動 おいだき たし湯	720	給湯 自動 おいだき たし湯	991	給湯 自動
122	自動 おいだき	350	給湯 自動 おいだき たし湯				

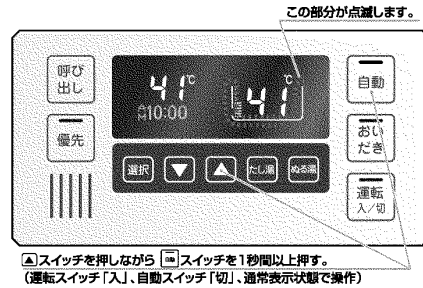
100・101を表示しているときは、お湯を使うことはできますが、給排気異常により十分な給湯能力が出ない状態となります。また、921を表示している場合についても、しばらくの間はお湯を使用できませんが、気が付いたらすぐにお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

機器移設の再設定

全自動タイプをお使いのお客様で増・改築などで浴槽を買い替えた場合や機器の設置場所を移動した場合は、新しい浴槽サイズなどを機器に記憶させる必要があります。下記手順に従って記憶内容の消去および自動運転の試運転を行ってください。

1. 現在記憶している記憶内容を消去してください。

浴室リモコンの運転スイッチを「入」にして表示画面を点灯させてから下図の△スイッチを押しながら、□スイッチを1秒以上押し続けてください。
記憶内容が消去され、スイッチを押している間は下図のように表示画面の浴槽のマークが点滅します。



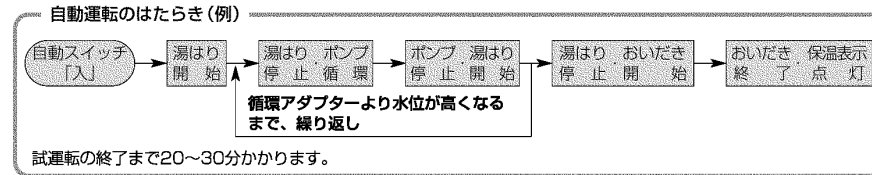
2. 浴槽の残り湯をすべて排水してください。

浴槽にお湯が残った状態で以下の操作を行うと、その後湯はり時間が長くなったり、低い水位設定時に機器が作動しないなどの不具合が生じることがあります。

3. 排水栓をしっかりと閉めてください。

4. 自動スイッチを押す（「入」にする）と自動湯はり開始されます。

運転中に浴槽には、給湯栓からお湯を入れないでください。
運転中何回か停止しますが異常ではありません。



5. 表示画面に保温表示が点灯すれば試運転完了です。これで浴槽サイズと水位が記憶されました。そのまま保温運転を続ける必要がない場合は、もう一度自動スイッチを押して、自動スイッチのランプ（赤）を消灯させてください。

主な仕様・能力表

注) 以下の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。また、出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。

品名	131-R440	131-R442
型式名	RUF-VK1610SAW	RUF-VK1610SAT-80
設置方式	屋外壁掛設置またはパイプシャフト設置	屋外壁掛設置またはパイプシャフト(扉内)設置 前方排気型
外形寸法(mm)	高さ600×幅350×奥行200	
質量(kg)	23.5	
接続	給水・給湯	15A(R1/2)
	ガス	15A(R1/2)
	ふる(往戻)	15A(R1/2)
電源	AC100V(50/60Hz)	
消費電力W(50/60Hz)	待機時	運転SW「入」:約6W、セーブモード時:約3.5W、運転SW「切」:3W
	同時使用	140/170
	凍結予防ヒータ	126

●131-R440・R442型のガス消費量

使用ガス 使用ガスグループ	1時間当りのガスの消費量kW ()内はkcal/h			能力最大時の出湯能力(L/min)		
	同時使用時	給湯	ふる	25℃上昇	40℃上昇	
都市ガス用	13A	45.4(39,000)	34.9(30,000)	13.0(11,200)	16.0	10.0
	12A	42.2(36,300)	32.6(28,000)	12.1(10,400)	15.0	9.4

品名	131-R500	131-R510
型式名	RUF-K1611AW	RUF-K1611SAW
設置方式	屋外壁掛設置	
外形寸法(mm)	高さ600×幅470×奥行240	
質量(kg)	35	
接続	給水・給湯	15A(R1/2)
	ガス	15A(R1/2)
	ふる(往戻)	15A(R1/2)
電源	AC100V(50/60Hz)	
消費電力W(50/60Hz)	待機時	運転SW「入」:約3.5W、セーブモード時:約2.5W、運転SW「切」:1.9W
	同時使用	140/160
	凍結予防ヒータ	185

●131-R500・R510型のガス消費量

使用ガス 使用ガスグループ	1時間当りのガスの消費量kW ()内はkcal/h			能力最大時の出湯能力(L/min)		
	同時使用時	給湯	ふる	25℃上昇	40℃上昇	
都市ガス用	13A	38.5(33,100)	29.4(25,300)	11.6(10,000)	16.0	10.0
	12A	35.8(30,800)	27.4(23,600)	10.8(9,300)	14.9	9.4
L P ガス		38.5(2.75kg/h)	29.4(2.10kg/h)	11.6(0.83kg/h)	16.0	10.0

アフターサービスについて

■アフターサービス(点検・修理など)を依頼される前に

- 38～42ページの「故障かな?と思ったら」の項を見てもう一度ご確認ください。
確認のうえそれでも不具合のある場合、あるいはご不明の点がある場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずガス栓、給水元栓を閉め、電源プラグを抜いて(分電盤の専用スイッチを「切」にして)から、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - 1.ご住所・お名前・電話番号・道順(付近の目印など)
 - 2.品名…131-R440・R442・R500・R510型
(品名は機器のフロントカバーに張ってある銘板の下部に書いてあります)
 - 3.現象…できるだけ詳しく
 - 4.訪問ご希望日



■転居または機器を移設される場合

- ガスには都市ガス数種類およびLPガスの区分があります。
- ガスの種類(ガスグループ)が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、転居先のもよりのガス事業者にご相談ください。ただし、ガスの種類によっては改造・調整できない場合があります。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事や調整は専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては運転音や振動が大きく伝わらないよう場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください
- 転居・移設にともなう調整や改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

■保証について

- この機器には保証書がついています。
- 保証書に記載のように、ガスふろ給湯器の故障について修理いたします。
詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので、大切に保管してください。
- 凍結による故障の場合は保証期間内であっても有料となりますのでご注意ください。
- 自然災害(虫や小動物・雑草などの侵入など)による故障は、保証期間内でも有償修理となりますのでご承知おきください。

■補修用性能部品の保有期間について

- この機器の補修用性能部品の保有期間は製造打切後10年です。
- 性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスなどの連絡先

- お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 別添の「大阪ガスのお問い合わせ先」を参照してください。